寶曆除元集

乾

へ5
1197
1

宮内庁書陵部図書

歳旦

猫支公

人や鶏霧をはれ神あらさ

菓蓋

仝

花ありとうちしくや

年の枝と枝

宮内庁書陵部
門
1197
巻 一之

仲尼なるやくつりけよ魯也
南翁の翁や世ハかくれ神子なる
らふのたまはくぶ厥翫えぬて年
ゆるく玉の緒をいふ衆氏なる
象の足らりおこ兆さし方便も
そのまゝにはえなくてあらし
ら那と申さぬ三脾とも無佛
まるよあくるくや臭すなや馨乎

南無阿ミふつと
名へや神農仲　子月
としおかん
ミまれり三百年九らるゝ水ゆくと

右南章
橙鳳云

寶暦七丁丑
歳旦

法弁の翁も
かしハもや　國の春　風雲齋　風状

柳ハ鮮口橙ハ鈴　紙隣

松門さ跡猶物に
不里しな　夕静

二

今年供ゆ稽田竃福寿草　秋可亭　夕静

名のまゝ嫁さハりさとも棚　飯笛雁　風状

さる猫
尾と椿ふる里　橋鎖して　紙隣

三

鳥追ひ、音遠ひおく　紙隔
むらの鳥　紫山子より

蕗象房

寒燈幽らら　也因　綯ひ交て　風状

菜　暮春

猿の手も続さる煙掛　夕静
餅搗や鶏の古やく燎　紙隔

仝

月も日も清う見えて暮ぶ　風状

敦仙

[illegible]　蘭中
[illegible]　風状
[illegible]　達三
[illegible]　金華
[illegible]　菜中
[illegible]　金寿
[illegible]　達三

良貞法師とかはら純の子ハ葉中
田植並ハ世扇屋ゝ樽 風狀
め狐の男ハ代官所官上り 達三
生議らゝ 祖母生ハ立 童舞
暑ゝ世ハ祖父ハ 晒第 風狀
ゝゝや孫狐も法ゝ家婦 葉中
吉野きて楠野ゝの歌ゝ老 達三
二日ハ少ゝ 柿生ハ 風狀
ゝゝ吉ハ葉ゝ 花衣 童舞
狐千に素面を逃る程ゝ 達三

はくゝゝハ法ゝ九五百年 葉中
代ゝ狐ハ狐ハ弾 金華
数詰ゝ子とゝ 風狀
彩興も係ハ 葉中
雪の日ハゝゝ雪ゝ 達三
動ゝ海つゝハ 猶 風狀
見ゝ狐ハ 金舞
来ゝ生ゝ目ゝの 達三
俗ゝ癖ゝハ 葉中
法ゝ高ゝ 童舞

春秋の折て委今ふ市ち果　風狀
俳諧まいて　丈餘の仮名　葉中
岐阜泊り翁ち移も借る　乾之ふり　達三
ひて　慣小船ちのけ　風狀
ひやりと仙人ち間ハ　拔ひ拔　葉中
ちひや　拔ち　敵ちうち人　達三
神道仏ち猪　色ち花ち　風狀
いく　鶏も出ち　亀ち　童丹
辛丑　ちち表
春寒ち宿ハ三　俳稽東　風狀

丁
丑
歳旦

初日や　ひかり
えらい　三ツ刀

軽牛斎
羅江

歳旦

境遊のかゝも
あらかやかえん餅

風仲全
象達

年内立春

春よ
くや
及位
院内
雪の杉

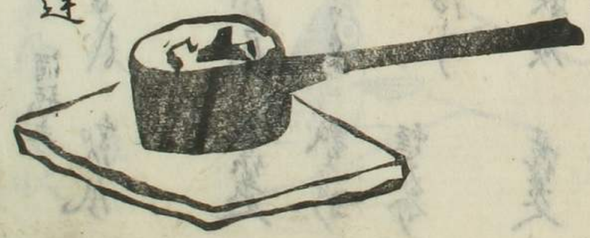
春盤も
かとんど
到つ
月なるえ

象達

巢尾

羅江

尾



追加

寶の船の伝馬船

丁丑

彰陽

書肆や伝名ものうくと　附手院　羅江

改　旦

あつりりと見えて咲ゆく　酒祇主　就風

仝

ふの春金銀きん山矣し尉　長徒

ゆきうきの席もふもあつ　瓢水

如小年仕也　春しる　蛭牙翁

年来

海苔賣や丈年たてる　熟炭　長徒人

栄暮

歯ハめる

氷そ　夢丈

年来

恩

後月

樹つ〻り小勝つ陳子屋て十三夜　羅江

白い小彩酒の物をもる風　風状

小鳥とる賭も雲ゆるさしゆて　紙隔

時　夏

通欲の蕎や小春の石魚　羅江

七月十四日の晩
雨ふりて物静なるを
時ゝ半井さえたれ
何とも山家の如し
雲深しとや
元日の霧乃絶古
と維江出吹級遠と
ありけり一も
京よりもたえいい
富士と東まの曽

夜吟之歌仙

花の船出して家せよ胡弓役　羅江
館にて飛ひあ出て行く鷺　風状
春の風飛几の形りし人参中
見遠ても茶も別れり
武白ら二月そ月日の膝むん
ウ
隣ての名て氷嬉の刈しや
能ひし山の宗中錺も照り
按摩嬉しひの根得よ尾

[illegible]り[illegible]て必ず[illegible]也
尺八ふくよりよい物なし
今宮の地ろいはさつきちんの高簾
柏もの〳〵く身さりく泥
唐藤す梅も仙今数打本
是も春しら丸雪手掛所
近ちの春静の絵八月はろ
ち梅めらり 櫻年ち霜
八年のつもり者と越後桜ち
人梅年寄る伊達と湯と

[illegible]春の紅ちて[illegible]起ち用よち
五里住て紫ち鶯ち鶯ち
松 杉の天ち身ち分若く
市酒の沙ち中 古角山
十徳よ扇の風ち力なりき
雲朝那けえんと河骨
大ちの数ち目ち二ち杉
ち て 遠 ち科のり屋
丸いのいぬちて猫の鼻のさき
星[illegible]仏ち 桐ち一葉八

名月八公時より人十三夜
やう寄こしそめ給ふ胡
蝶と倫出給ふ八月とゆけさう
薄とこの間生八月生のおう
東海道五十三驛のうち第九
番目と書人大工ぶしの者
勝四郎から出る帝の花筆ぬ
のとけふ吉のはーめ少徳
言分
竹明も陰夜の焼の石　風狀
かさりや

子九月十九日三男
出生の賀を述
ときを待時　暁
孝紀

祝を
家を月小
寄
ヒヤカ
形ラ孝英
枝を
なる孫
くれん母

右 [illegible]達明白に
貴こゝ出生の
[illegible]を彩る

中[illegible]の重[illegible]
[illegible]

右第三をこ　風狀

賀　章　仝

たゝまつさ　まてた椎
[illegible]の実や

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

立春天敕日

[illegible]齋

歳旦

結び解て　去年の春氷　建三

天地や　玄事を貴人　金華

神日新

世を祝ひ　桐の巣を飛し　蘭中

巣　菅

英女子や　年の初なる　梅　建三

風さよし　鶯の橋　八仙師　菓中

辛酉立春

天解のどちらへかけん　去年今年　金鼎

寛暦七丁丑

歳旦

手ぶらぶら　角く扉乃初日新　尊鑪

乙丑元旦

扉　夏の夢　風狀

遠石所　姑孝も居　都小三　五始

苔分

強因ら家も
樹もさすもの谷

等躬

峯茶

此中よ何もの物売乃
眼続買

追加

頓塔の元さ海つ[illegible]
[illegible]

風雲亭
風狀

丁丑
歳旦

鶴画く　深朝
筆のかゝみや
栗林餘

亀石や先つ雷踏
[illegible]日彩る
山のつゝ

歳暮

松立や　雷路
年一日の　除夜の鬼

外は節の　除夜
柱〳〵　来る年や
年は油

退加　風雲色
梅の香や　風狀
山も
眠る
影も
老

寶暦七丁丑

歳旦　百藤

世〳〵の
為悲實仁乃
日はも
見

年尾　仝

六ツ義山八〳〵
年小事義

子ニ峰

北國の雪をのかれ
皇都ニ居を定めて
山風はけしけれハ
都乃雪ちりも空ハ
跡なし

雪もはるはるし
風も細くや軒の廣

白

追加

うら山や
はるもつ春乃
梅の椎

栗雲舎 風状

歳旦　嵯峨連中

若水を汲みて年ながめけり　御為 蜂水

月藤日あらた年あらたや御代の春　元日印 可逸

元日や我一人まだかすみ深　大米氏九星男 急路

けさハ春の頭も有りて素の花　湖東館 以合

元日や偉態獣福るらし　帝水軒 雅圭

梅咲し福を呼るる三の朝　龍山

大此國へ乳人言神日記　秀笑

よう神や大き諸々をみかの　笑海

巣屋

買初や金ハ入りて??の?　松台

?まつりハ皆の人??日　雅重

子の年の陰光を去る祝ひかな　錦山

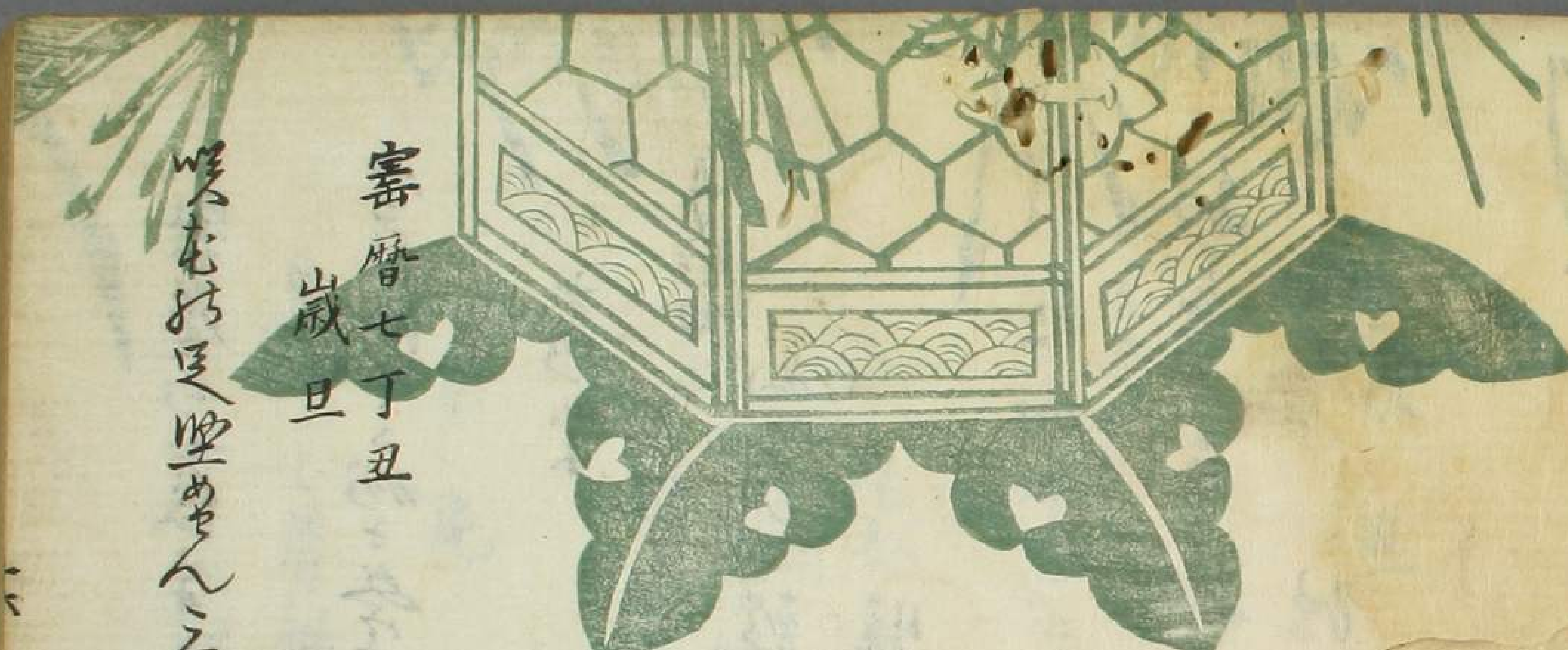
又明く追ひはこくや来る歳　象笑

子の年や今年の福き福鼠　笑流

年内立春

来ぬと?つりぬ?の春　一逸

来る春の年をまし出ぬと?待かな　蝶翁



宝暦七丁丑
歳旦

咲花の足迎めでたん之[illegible]

鶴橋亭
與穆

雅楽の加役年々棟梁　張賦

雪ふり積る砂ゝ年々　風狀

七夕

貴日の
如くひる新月　與穆

蝉　拂

追加

和歌の道の船乃
佳ゝ　九雲座　風狀

歳旦

一年の　初日影　書種
定ゝなりゝ

年内立春

春ゝ別や紀頃
交りし国境　仝

年尾

年中と資競ゝ
大三十日　仝

歳旦

古き酒も　新鶯なり　大福茶　風隨

巣籠　塩柳今

鶴の風気しらべて　年の春　仝

冬之嶺

雪の日や　影の柳　色ぬる　仝

歳旦

元日や　乳房を持る　今ころ　田袁荘　芋魁

雀いく年つもり　春　蘭壷

見け根菊　配る　弱髪　帳海　風狀

年内立春

雪や　廿日もたつ　京云葉　芋魁

宝尾

紫掃や　ふんさ　菜乃汲　蒲壷

迫かい

うらうらに　ぬ　年内　風狀

春興

芋魁

夢中　花雪月間
几帳てかこふ　自西製

歳旦

東武　今田氏

明てうさ頭巾
叶屠蘇初日玉　四丹

時のめ仏みかく
もくらの梅　仝

寿人名を
上書とる歳ぬし　仝

歳暮

神力や永代橋の[illegible]　四丹

又来る年の続　七五三縄　仝

永常の[illegible]　[illegible]人　仝

鶏頭　東武　翠竹仝

墨の跡今朝の秋や　鶏冠草　菊宇

一の字や字海よ　[illegible]　旭之

年尾

[illegible]　菊宇

除夜の[illegible]所

[illegible]の[illegible]　年[illegible]　旭之

年内立春

中かて切る押へも　如雲軒
春の綿あ雪　青谷

陳夜

年こゝろふるくさに
鳥の雲かゝる　仝

歳旦　龍吟閣

蝋燭の翼の中や　白圭
きらてきらめ

年尾

年ゆくやろの　梅雪亭　仝
やうなの

歳旦

富貴自立　恬淡亭
年〳〵や　雲の門　亀上
年〳〵や

歳末

鶴亀年
かさる年の　仝
富貴神事

みゝ〳〵峯

年〳〵や　羽黒星　仝
鶴亀か〳〵の

歳旦

花と見て白しめる雪や　三の朝　枝葉

歳暮

降る雪も積りくて年一夜　仝

春興

梅の花ちくくや墨の匂ひ　仝

年暮る

大坂の夜あなくし年ふる路　湖年

歳旦

大ふくや先初咲の菜の花香　可笑

人〻日八苗字と名乗る若水　仝

いそ鳴く百の小鳥の囀りて　仝

巣籠

石ゐしやうて八九の年玉坂　仝

春無

山椒の皮や天狗切刀の跡　蝶夢

年内立春

春迎し淀うち上る伏見舟　魯口

巣籠

屠蘇袋冷して年の沖桜　仝

賀帖

郭風や吹なふ掃て雪の春　私耕　傾蓬蒙金

巣籠

山びこ猟年の初音の高く　仝

年内立春

初雪風小氷柱の繰り戻り　仝

古巣

ちよいさ年越人老の坂　言灯

歳旦

鶴日新あさ八月の沖霞る　嵐亭

巣籠

年内立春して織足せ帆の尾　仝

年尾

鶴船を押行勢ひ年もくや　鶴居

みそ吟

あるまじや氏拭い宵のぬれ傘　平行

酔て見ん心や六の花の宴　有道

風や風のすくるぬかり船　有兼

巣雪

井戸ばたの追側入ん年の暮　平行

行年ハ後をむくらの梅花ぶし　玉乃

寒梅ハ春をいそぎの使ひ哉　玉兼

年尾

沖ゆくも客人戻り年の坂　青湖戸

年内立春

埴色や四月迄年のくれ　負右

十歳

行年や あおさへて乃神　仝

立春

汲音や年の若氣とさゝやかん　自若庵　桃水

巣雪

顔の佛もあるを年ハ仰　仝

元日

賛分てをけら詣もさゝ来ぶし　呂風

年来

日暮や大海車の手境　仝

歳旦

福ゝ来ぬ雪ふる家や花の蕊　翠風彩　柳工

年内立春

元日同ゝ立枝や窓の梅　仝

脇座

師走仲寄むしの机掛　仝

歳旦

元旦や雪ふり八丁固の夢の門　漣月

歳旦帳を積む雪の綿庭　新々

年尾

雪年の蓬や弓ふる今ふる鶴延　仝

大とし や実結ぶ雪ふる春ふる声　漣月

歳旦

三吉野ふる咲八月の花三つの朝　五章

小中山もとゝ和紙や巴ちゝめ　圭也

立春や若ゝる松の冬ゝ添ひ　朝平

歳暮

悲の春ふ文抱付かん年ふる暮　蘭之

いく月めいまゝ常世ぬ年の鶯　東也

一休(景蓍こ)ふる世新年　又幸

聖節

白妙やもつとも富士の初日影　南陽級

門雪や富士を雪ふる初草　雀叫

風の角ふる水ふる初梅の胡　嘉年翁　宣任

年始

花雪や年のゝ初の撞　仝

煙掃や海浪表ハ波の青　雀叫

ふるく年を送るや水の青　豊任

年内立春

春ふふる世事ハ師走ふる　玉舟

春無

雪や松もも古を掲屋町　浪下　京童

歳暮

年越の夢や二ツ富士の山　仝

歳旦

若水ふらめく四の衣装　山川亭

烏帽子ゑて舞ふ神楽の猿　仝

巫女陪の門も浦連られて　仝

歌仙

糸の五ふ尺河く所市の郎　芳鶴

狼狽倫を橋ふ垂く翁　風狀

胡蝶扶ふ嬰粟稲を呼ら出て　虹耕

ちらちらとさせて片足の浮く　魯口

春を月出て見るかけつるも　氣公

故郷ふ帰ふあいあいふ　芳鶴

山雀ふ掃除せ〻ま耳の中　風狀

雲の多ふ西川流海老　虹耕

杉立のワきて眼をかさり琴　魯口
醫ケて も髞の重さけ髮　嵐公
後の朝掾ツてゝ池田炭　芳節
水をゝゝれて氷ゝゝ　風狀
四五寸ハ埃を拂ふ獨樂ケ風　紅粉
野ゝ繊錢ゝ歳ゝ面影　嵐公
三ヶ月ホ石尤なり版木彫り　魯口
いゝゝゝゝゝゝゝ　芳節
花筵ハ上下ゝれとかちんの音　風狀
ゝゝゝゝれて治聲酒ホ蓋　紅粉

茶福

二

ゝゝゝ紀ホ秋の風ハなゝゝ　魯口
なあつゝゝゝ芝ホ行列　嵐公
紅板ホ見ヒ分ケハ多拾上ケ　芳節
たゝゝゝ塀ホ位を負ふ貂　風狀
帷子も初ゑハ少擦板撰て着ル　紅粉
浴の日傘、世めゝさ　魯口
妙の今世清ケ今屋風　嵐公
二人ーて先かいてのく嘘　芳節
裂ケてある時ゑハ乳と釜ゝゝ　風狀
料理の月ハ蔦ゝゝゝ出る　紅粉

菊八尺 芳八筆 [illegible] 宇津の山　魯口

[illegible] 陸と [illegible] 鼎の音　嵐公

竹 [illegible] 八ぬまして [illegible] 屋敷　芳鯉

丁 [illegible] 八 [illegible] 乳母の名　風狀

[illegible] 藤の [illegible] 衣も [illegible]　紅耕

月 [illegible] 花も [illegible] 糸　尊鄭

[illegible] 切て [illegible] 花の枝　魯口

かつぬ [illegible] いくつ [illegible] 立　嵐公

[illegible] 吐

[illegible] 出 [illegible] 梅ひろ　他山

歳　旦

あらたまや [illegible] 足　曹水

元日や [illegible] 菜 戯る　雪人

菓　蕎

今文の男 [illegible] 師走人　雪人

名 [illegible] 八 [illegible] 菓 [illegible]　雪人

歳　旦

[illegible] の [illegible] 門の雲　五陽

菓　蕎

[illegible] 人の [illegible] 橋 [illegible] 師 [illegible]　羽曲

年の [illegible] 八 [illegible] 歳 [illegible] 里　[illegible]

なくさみ 競馬儀式 尼拂 五陽
射くるとけて 清水 杉生
保昌の言語 雷 鄰使 又陽

元旦

神君よりの御雪のうりうれて 年の夜
雪さめて載く雪て 福寿草 一洞
福徳八々ふたつのおく 古藏 解皮
年尾
其獨立 ―の春川 一洞
うりし雪いろ 雪の年の川 解皮
巢 著
巳の義上 ―る 飛の曇 五姫
年越 人 ―で年 坂 又赤

おもし 桃 伏見御所 桃 五姫
おもし 桃 伏見 桃 五姫
二つ ―れて 桃 風狀
雑の ―人 ―の ― 又赤
歸 ―る 葬 ― 五陽
西 ―人 ―て延せ ― 用 五戻り 杉生
庫 ―て ―の秋 芋蔓
狀 ―紙 ― 羽曲
朝 ―関 ― 卑下 五陽
下略
年内立春
雪 ―年 ―尾 五姫

歳旦

花鶯は和漢より今朝の春　桃水

[illegible]　奥丁

楚よ八千年の春や初日影　美人

万年の龜より古き初日かな　百丁

四方山の靏とも見るる初日哉　一水

大海の泡と浮世の自滅鴻　斗志

年尾　四十二三と定まりぬれども

海の八十つ綱もかるき年の坂　一水

面白き八十の男しかるやらし　百丁

きりぎりすもいそがしの腹帯の苧　美人

袖乾きとなる物語や三十日祓　斗志

いつを新る時うたうて陳年の藤　奥丁

[illegible]

大津絵の鬼ともめでる今朝の春　桃水

歳旦

[illegible]　羽橋

年尾

煤掃や尉鹿仙さうふの顔　仝

煤掃はたはたもおりき沈めぬ　貽畫

歳旦

若水の八重なる初の神の御　何陋

[illegible]　仝

立風のたこひもおのや[illegible]　宵の林

[illegible]　肩山

[illegible]

[illegible]　仝

年世

[illegible]　雁刀

[illegible]

三輪のうぐひす[illegible]　金牛

歳旦

老せぬや人も老やく茅も水も　素堂

栗　蕎

高せにはもるかりのこの年もる秋　仝

屠軸

子の年は蕎麦の花咲く

爆竹や嵐の山の遠間　桃水

鶏　旦

元日の羽ハ雲ゆ君ゆる那　風江

年　尾

かそいろのいさめの恩や年は蕎　仝

法る治連の屠ゆふらは鶏の股　窪人

春　無

梅さらふ惟元日風合　仝

年　内　立　春

三千世界蕎麦一所も梅　風江

汲　旦

元朝やゆさうふるる料理人　荷叔

竹笠歩

天の川年の渡りハ初日の那　青牛

年　未

おもやの師元朝もあるとなり　仝

三　朝

なのこの数うそめん今日の春　定水

栗　蕎

万石の声や世界は年の市　仝

春　無

打ゆもも老せぬ名ゆう見櫛の湖鴻

年　尾

空今宵皆書見や年の盃　仝

栗　蕎

言葉ゆと福踊り迎の勢ひる　素栗

年尾

[illegible] 師走哉 不昇

歳旦

[illegible] 初日影 子風

年始 伏見 華陽亭

雪を[illegible]や梅を[illegible]方 鶴人

[illegible]

年始やおの堺の[illegible] 仝

歳旦

[illegible]花の[illegible] 麻竹

法を尾[illegible]破鷺[illegible] 夕静

[illegible]人連[illegible] 風状

年晩

[illegible]尾[illegible]

年内立春

[illegible]の[illegible]や[illegible]の[illegible] 仝

元旦

大名も[illegible]三[illegible]朝 眉山

年尾

一年の[illegible]や 仝

歳旦

[illegible]三[illegible]のあさ日影 張賊

若水や月日影[illegible]戸 素風

年始

[illegible]世年の[illegible] 仝

[illegible]九[illegible]の根[illegible] 張賊

春 [illegible]

春[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]姫 八馬

暮春

[illegible]代も中制[illegible]せよ年の春　八馬

元旦　[illegible]　山[illegible]子　文人

[illegible]

三朝

[illegible]　宜雪

[illegible]　仝

[illegible]　文人

[illegible]

[illegible]

[illegible]　[illegible]　逸西構

[illegible]　佳洲

[illegible]

世ハせ[illegible]動の[illegible]　仝

類仙

[illegible]　[illegible]入[illegible]

林　象達

[illegible]　[illegible]

一湖　雲

小村　[illegible]

[illegible]

[illegible]山[illegible]

[illegible]や[illegible]時[illegible]仲人　[illegible]

[illegible]の[illegible]　[illegible]

[illegible]山[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の[illegible]

[illegible]

仏を拝をがみて紙を尼
ぬ髪撫でふるひの為に髪く
ゝ
ゝ
百日紅の花の盛のいと猶
ほ名残の埃打拂ひ香を出も
家もち鶴丸冊の田楽
物喜ぶつゝ自然居士
ゝゝゝの鄙を表ゝ鶯
宇津の山あり名を今市
仁義ハ柳移香信梅

月の跡を西の記を西方
切てゆ物を解別
章紙天も市新へ書て赤めら
鳥ゝの為のあまり二次ぬ
横て根も絵くとゝ雲
静橋もく待衣を紬
ゆ拾ゝハ三十ゆ後の為ゝ
鬼打ゝ引為ゝ
月ハ学解雲を出て展出
拾拾拾ハゝゝもゝ比

こゝ邪　板の軒に滴る夕しこし
淵あり八溝　宮の数よ
蒲の穂よそへて見ゆる牛の角
篁の名つゝし　筆を果
ウ
渚海ハ橋　弁当の浦中め
明し海ま教子　泉の湯中と
うれし地町と推しさ　柏涼
うしとらハ字もかまわん　夕静
ちらつ筆花晴小雪の前つらひ　風状
勝て巴とかけり志ある常　紙滴

歌仙

新仮の筆紙伊く春の朝　風状
撫る柳の鬢の小角　荷杖
異見囃子親より口ハ大キクて　風隨
朧の宵月わるゝに几ヶ　窪人
山めりて雲の月見る秋の宗　風臼
ウ
村司の露るハ顔あらはる　素風
二三本中汲に浴く根生じ老　夕静
又見ゆる人ハ知らぬ同士咲ム　佗山

被着てをれはまりきる脇に　山帯
叶ふて肴て成り捨の角力　眉山
朝座行の連ハみんな寝きつくと指を　洗蔵
撰巾あらせをされはこそ病　与穆
名ハ出ぬ用两白き秋の米て　紙隣
啼きそこなひぬ虫の一声　中陸
浄氏誇も月に向ふハ櫻の綱　歌蝶
日本の第てあまりの持衣　八馬
第離もすけて薫る花の山　雪堤
雄ハたかい女おねのかうし白矣　芋魁

飛込のかう宙に千仏蛇の声　二笑
ちりまてまはふ村の舞袖　一掬
舞の舞と柿を吹きけり　吾獅
百ゝろ上の年賀年く　風華
貞女なからなのりよ後家名前　眉山
奥のさへめくる仲人の下戸　風陸
青海苔も火縄も身にし法華宗　荻枝
おのもり雲と泥へ入つ蹲る　夕静
引く腕は腕のはかつくいかりけり　与穆
借り屋を見るもあとは見せかり　紫江

月西に星ハ少し　他山
流る星ゝを送るハ昭ケ　雪窓
ウ
福神の船て来る鶴の毛　芋魁
酢る秀拙ふ　征西潜メ　山節
大名を廃たるたゝく屑を　八馬
玉川　五ケ所白粉の香　二笑
削りたて煙ふまゝ寒の花　窪人
菊の若芽ハ芳しき兄　浅蟻

卯年

春雨ハ　鶏を　猶や　手乗り　風状

歳暮

花髪の日ゝつく年や暮や守　絲石
親里（紋付ひゝ来る所定り邪　隆志
年ハ鶏ニて蓮のゝ子ら落ちり如　年狩
年のゝ子ら乃ゝ雪ケ芳雪　丈石
春待ハ食ハ橋沢仲國泊り　宋屋
乱ゝ来ハ也ハ白ゝ涙　青衣
年の宿ゝ子ゝ　一方
隆夜月ハ泊ハ橋の子ハ　宮雪
年尾
鶏ゝ橋ゝもいゝん　解遊　周石

高きを乃ぶ新年を年内を建　百花
年も底なるを吹武十四文川　奇仙
言分
さもさうに年の横八移り郎　麓船
年書
賓人も後を乃ぶ墨佛　春雄
大年やそのあり又不奔吉　枝竹
駕は馬め楽捜を師走り郎　嘿山
年の瀬の早紫りふ張子房　馬石
傾城の少聖宿や年内を移　乾白
蝶掃や糞の拇八裏をり　僊童
年一夜顔洗せんむさ切　麻雄

二の宮をみたてまつる

きさらぎ末の歩をすめるふ

雪を吟ふ

杉のうつろうすの

はるかぜ

風羊

梅ら咲く山茱萸

ふくほのゝし

不夜菴太祇

花といふ妹を

ふやゝ柳ゝ

風雲奇風狀

歳旦

初の字の仮名ふ書くこと日景　香郷

雪も春ゝ菜盒子ふる玉芝蓍　琴泉

なへて世ふ先をかゝる初日ふる　菊帛

明ゝて先ん家ゝ花や松かゝり　花袖

東雲や白玉姫の初衣裳　青苔

黙こゝろ空すも知ゝや初霞　綿屋

大江山まこふもゝ丸の海雲ふ　百圃

こゝゝやかゝてゝ人と競解　蓑明

明清一日の代ハゝや年の旅　窪今

遠業や女の親のこゝ駆り英　菊歩

ほゝで掃子寄注字狙ふ目の初弐　芋冉

上下もあらた海男を帝月　風羊
元日や旭の筋のうあまき山　芳川
神霧こもちやうる郭の息　斜天

巣　春

かけて喰へ師走の飯へうろく汁　吾稱
たうう船亀ハ磯石のすりうの　琴泉
器ん丸も陸子別たる世り郭　葉虎
見んうもあるのちうこの玉の裏　花往
歯朶賣の山商出れ蓬莱　青青
移植せ鶯地小眠う　岳笠　鶯顔
睡や小口まりりの年の菊　百圃
無津姫餅花ろうかけてうり　蓑明

夢声や耳うう先へ年巻裾　窪今
雉拂ひ烏帽子似合りん人ハ誰　菊岱
脇出して梅一輪ゑ〜〜の山　芋舟
かりハ月の九〜聞うて年を行く　風羊
手の尾や又あり牧の大曽老　芳川
むめう香や笑ひうほう涙夜の雪　斜天

春　真

伯うの高れぬ乃や加茶菜　根溪
嫁へせ一野をつうし茶菜　柘子
汐敷ハまう白川今朔嘉哉　琴柔
陸奥ゆうやうれぬ梅の花　馬呂
汁月さうの中山をうる
うかりさ
ゆなきの石や　大三十日　古能

俳諧之部

巌且　東武　蒙函

[illegible]を
[illegible]こし　三笠の朝

巣蓍　仝

師走の卿
[illegible]白髪の白松子

治華之部

年内立春

年の[illegible]　皇史

年（春唐も[illegible]やうめ女　蛟杵

試の白しも[illegible]　崔獅

巣蓍

新玉を[illegible]の山　梶平

年尾

松風や[illegible]を年の世話　分外

四十四

年内立春

炭竈や年の横山遠かすみ　菱波

早梅　未

蔵の内家の煤も掃よかり　亜晃

初雪ハ上ノの譲る年木船　篠壺

皆人も物しは故なし　年比夜　赤寄

臘八

たくわへ酒連の下風年忘　冨天

節分

精進で白きもし九千歳　周承

言ふ狐く嗔

咲かけて笑家もあり念仏　葉雷

四十五

歳旦　几掌

年見ん三津の曙　鶯書跡

鶏旦

周山ハ富の小川の雑煮哉　渓鳴

年暮

商人ハ鄕師走の師の字さへ紛れ　君里

歳旦

初春を若鳥も須頭ゝ姉　菊人

年晩

[illegible]坊を殿と称ふ年暮ぬ　巣人

年内立春

風も今日いぬめり歳暮春　耕々

春興

貴妃とそ[illegible]向く春の柳哉　仝

年猶

世の中や暮ぬもとく大三十日　雪示

寒夜

庭冷ハ[illegible]見る事の俗移ル　蕉雪

猶雪

山〻〻の[illegible]のあるやうさまの　竹物

巣春

いかゝしの[illegible]中分や　古草紙　素橋

年内立春

[illegible]春咲[illegible]年の谷　嵐庭

[illegible]

鶴[illegible]見上ぬ雪を老の友　花橋

巣春

市の松根つゝき　代〻の　榜移ル　石路

年内立春

雪一重[illegible]ぬ[illegible]ふる銀ル　立樓

巣雪

[illegible]橋[illegible]名[illegible]ル　年暮ぬ　笛十

言雪作

歳暮かつぐ母無小乃こ母あり男　鬼盗

栗　蕎

鬼怖ぢ爲ぬ小ぢ乃こ後　厄拂　小柳

年内立春

投入や年小立陳ぶかり　杭　如棟

冬こ以

立雲地乃黄ぬ新乃春　乙巳改　春巾

年　尾

以春小年やあ常うろ常　車丙

年　晩

根小ちろ陽て年の吉野山　桃三

四月二日此

吸物小なこ二日乃福寿艸　叙夕

女性者も春ぬ待こ

燈籠や此ちろの男常　晩冷

大坂立夏城連中

春興　年住

うら波乃小

いろ見ぬ春の

撥の助

年　尾　仝

松明乃根灯　かり

年そ行く

[illegible]

[illegible]年切ハ　[illegible]日和佐　文隨

[illegible]白[illegible]と　李觴

[illegible]一夜

[illegible]八春の[illegible]心寺　素風

[illegible]

[illegible]貞年の　文成

浦農　穀雨

寄暦七丁丑

誠華　南都　微風舎　千魚

[illegible]

[illegible]福[illegible]寿

[illegible]　冠狀

[illegible]　千夷

[illegible]

[illegible]年[illegible]月十[illegible]
[illegible]入[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　微風舎

[illegible]

五十くさ[illegible]松や宿乃春　微風舎

庭くさ[illegible]福葉　千魚

文禮ぬ[illegible]錦堂

守歳　[illegible]

[illegible]　[illegible]

若水　[illegible]年の川　[illegible]子　魚

仏壇の[illegible]　[illegible]　[illegible]　仏状

聖節

席とも[illegible]

[illegible]

福と壽の咲[illegible]　越前大野　白乃春　鯉尺

尽きぬ庭藤の[illegible]の[illegible]　紙隔

[illegible]　夕静

来梅

鶯の[illegible]さ[illegible]の声[illegible]　鯉天

初雪の比

深[illegible]松[illegible]
[illegible]し今[illegible]雪　玉

追加

紅葉古　[illegible]の船乃
[illegible]の[illegible]　風雲座　風狀

春裏　伊豫今治　七百尾　洞菊

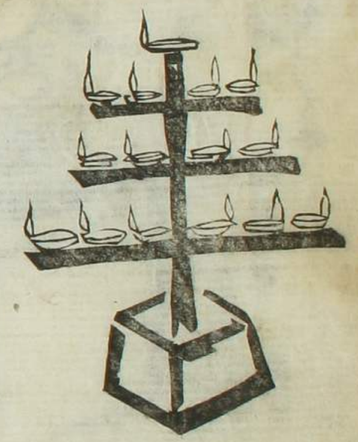
梅咲や
鳥居の高塚秋の山

歳旦

人の氣と連て
[illegible]くや　福寿草　双雲秋　紅狀

年尾　伊藤今治

今年もハ
暮しけらし
暮の雲　知狀



伊賀上野　古辺中

秋見　竹義堂

八月同じかるやの梅の神咲顔　習水

升菊ふむふ者水の新ノ人

八幡宮空行く琴や清らうん　稲歌

喜二　玉国播

情を出す初日やふの梅ノ人

歌しり弱ふさ紀き春　稲奇

夜風吹ハ岩ものみも声ふて　習水

三

雪や世界の明る梅の咲　稲歌　春林亭

日ハうらゝかふみの国の水　〃

お代らのんを蝶の舞を面白　〃

歳暮

●花のかゝ一ぱや雪の枝　〃

暮ぬ

ゆくとせ初なのうゝ除夜の鐘　稲歌

元旦　豊国

元日や酒ゝ小花ゝ都八　菊人

巣鶴

大ゝ八雪ゝ梅の花　仝

歳旦

大名の
あるなり
ひさかた梅　巣尾　仝

あやまるな
師　延の
著者
きりへ
うれ

山壺庵
魯石

歳旦

表うら日のさし出
有うさ一人やこがらの初日和　丁雄
たふとや元旦くの青海波　炭打
三箇寺や帰り支移る岩の春　杏花
大内くの湯屋やつるの初かすみ　幸流

巣尾

梅さげてうるや酒ばうり年仕廻　童流
あるあ振袖をむるあやうの雪　杏花
寒う咲やこの二枝ちる春の雪　炭打
つとせる目出度うし除夜詰星　う柾

三貨堂

年内立春

蔦あらけてのわるや年末樵　素風

巣尾

まる雪のとゞてい地蔵やつかす稽　仝

歳 目

歳 目

朝まゝ紀山や一刷毛ゆもはめ　洞秋

歳 末

惜んな年を咲ふ幕　仝

え 目

云年の面取りゝやゝ神茶豆　神甫

年の関越やゝ切もちの数　仝

歳 目

二三輪初ゝゝや梅の神矢良　雲軸

鶯年の冨士ゝ見るゝや歳ゝゝ　楚玉

年 晩

赤ゝ年ゝ雪の夢やゝ大三十日　雲軸

小数ゝゝちおさめゝゝゝ　楚玉

煤掃やゝ門ゝを祝ゝ角大師　桐夏

万物や　常盤軒
　　柳志

　　音わ通

　　今朝春哉

　　菜　蕎麦

　　合

花ハ咲と　白子同一

　　師光風

歳旦

佐保姫ハあつまを　倚松亭
湖やそらの水　有字

雲ゝ三て見る毎ゝ　任風舎
所の霞りう那　楚弓

月花の筋ゝ年　状元斧
かるゝ心や明の春　風更

歳

市人や海こんに　任風今
年のむら雀

日の影ながら　傾松亭
年の若葉哉

秋こゝいろ
行く年ぬかの　狀元斧

鶏旦

氏神小笹　風妙今
万民の　環
手水のはめや　初旦

歳末

年寄人　童の　仝
姫　仕事

貢歳

明らかや卯月の
空も花の香

白雲舎
左快改
蘭洲

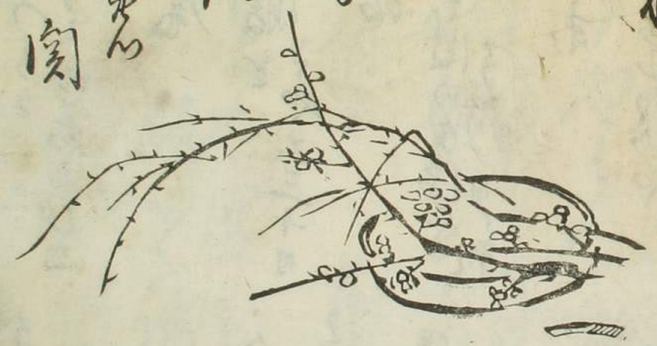
雑伝

あるとも
情なや辛の
水の肌

仝

歳指

芳の
うら育も
あらん
辛崎
関
五峰



嚴首　南窓舍　竹牙

埴輪はめつくりなるめ若名ひ

年尾

大悪不脇を（かし）ゝや大三十日　仝

三昭

洗ひ出せ波の手傳や　洗車

きりの日氣

巢末

立帥と高不脇や　言雪ひ　仝

蕃ゝを歯手

花知ゝや嘯

詰ゝ　のちゝ雄

蕃ゝや椿さゝら

右あ節　舞雄

ゝ川蕃ゝや空も

布袋の脇ふゝ流

管雪ひのあゝも

解ゝ　節簾

太陳元　琴抱

歳旦

福も寿も拝むや年の初の春　嵐雪

致雪舟

徳ゆる孫も稽像の業　凡水

九巾あるる日和ともうしてて　張賦

菜芳

梅が香も人ぬる夜の梅明　嵐雪

遠加

弦惜むこの方こゝやり　凡水

伊賀花洗連中

春興

うぐいすの夢こそらん鶯の声　丁柳

歳旦

一こゝ世のかりうちめ　五風舞　杉夷

初日の郭

菜芳

餅花のもふもぬる柳哉　仝

歳旦

[illegible] 以中
中[illegible]達の揺ふ蓮葉 沢樹
[illegible]地獄の声[illegible]と来て 冥公

玉 二

三揚の船出[illegible] 冥公
[illegible]日 跡小百栄 以中
四月の末[illegible]彼岸 重頼 沢樹

甚 三

[illegible] 沢樹
[illegible]の声の鶯と栄 冥公
[illegible]の[illegible]ん 以中

年 楢

[illegible]の音[illegible]出つ年[illegible] 冥公
[illegible]年八[illegible]の鳥と定[illegible] 以中
春人越す[illegible]物[illegible]年の板 沢樹

歳旦

人間の鳥野[illegible]歳やかさり松 一葉
[illegible]のあと[illegible]る 素竹
唐人やる[illegible]の[illegible]て 梅賀

甚 二

[illegible]市のかりぬ門やかさり雲 素竹
撰[illegible]上戸[illegible]柳 梅賀
[illegible]と角と[illegible]八百出して 一葉

其三

捨たる神の宿りやかざり松　梅貫

餘寒の波も清しふる雪　一葉

春の野に幕張ぬ錦袖哉　素竹

歳旦　常楽波

梅もとし泉に浦変や梅の風　茂貫

歳暮

年の瀬に眠りとやけり代々宗　素竹

六つの花氷や富士の衣配り　梅貫

関とりや桶屋もならぬ年の底　一葉

かけほに宗や浦くの宝船　茂貫

歳旦　和靭龍口

青柳に陰子をあつる柳の月　枕流亭　岸踏

歳暮

さえ返る文夜の年やとれ　仝

丁丑

歳旦　務州三津浜　因碓井

今年中ぬ[来]眠子みて春の夷や　犬の春　含芽

寿をも救ひ盞大福の釜　歳鶴

濱庇小富士のかすみ　拱入宇　夕静

歳暮

置てゆく年乃名残や梅の花　含芽

追加

毛詩かしら志らぬ遊ひや年ワも経

風雲斎　風状

豫州三津浜連中

歳旦

家鍋のかほりや今朝とりそめ　佳雲亭　鯉安

年尾

閏月に飽て夢かし年の暮　仝

歳旦

四方へ
今朝
もゝ
出ス
牛
ゆ
あゝ
ゆ
晩年
ゆ
ゆ
角も
年の
ひゝ
ゆ

女狂金坊
世五郎

歳旦

春や
巖の
吾も
ゆ
ゆ

巢雪

廿日ゝ後と
陣走の富中ゝ郷

江戸金左衛

雪節

方角八耀小紅すゝ神淵　里曉
元日やこゝ〳〵八文の七圓見　日洞
若水や水右も結ぶ瀧伯龍　十畝
元日や美食いろ〳〵菓の花　虎舟
大ふくや家ぬくたのの粉うり　志計
眼ぶる時よ春すゝり宿はる　養之
元日やすゝめる鎌倉も　雪宵
元しゝく心の蓋めゝ餅　雪廣
紅白八色うり出るや神あり　子怨
まゝかりも昔むかしと御代の春　白明

年尾

四百年の運を跨や年の龍　日洞
小不世の頂かろしゝ支度　里曉
雉子の初〳〵て拾ふや色紙　雪廣
春の年の乃日掛（や）　志計
佐保姫八春てる白歯や年の山　養之
春ぶる竹景雑や春も今一夜　子怨
一とせの美氏の春ゝり昔雪は　白明
美男や春待つ山のすゝる額　雪宵
ぢり合て遠もすゝや年義　十畝
静る海も休ゝやゝ大雪　虎舟

年始　詞白

三笑の
友も出来らう
今朝の春

晩年

庶々と
後を引く　年忘れ　仝

歳旦　藤劔松山

山吹や
枯る出て
福寿草　世英

巣末

めら松も
二葉の
後の年男　仝

藤劔波止浜連中

歳旦　夢穂

青空や
鶴の
苔の
紀
うの日の出

年尾　仝

梯子
を
昇る
光
の
年

歳旦

当年八十二迄りの
ふるまひめれど
ふるいきまつり
侍りて

七福の若も　金風
あらりく　若帝月

年内立春

年のうちよりや
神　物や初もせん　仝

歳旦

世界さと見入る朝の高楼　志雲
歳暮
一声や鶯さそふ白雪　仝
元旦
遅桜不実も結ぶ初むすび　素橋
歳末
彩雲川流る八百の言葉山　仝
彩旦
なるる根の柏磐や花の春　波方　橋水改
一年尾　旦里
神へ高砂嫁や雪かさり　仝

[illegible]節　[illegible]

遺集に　西代寺
海苔の器に

同集　仝

[illegible]
横[illegible]
[illegible]船

元三　蘇石

大[illegible]
[illegible]神日や
[illegible]の鐘

仝

[illegible]
[illegible]も
[illegible]年の闌

元旦

蓮葉の御代の大和　梅志

晩年　海苔なるや　仝

能年を積よりの
たゝるや年仕舞

新陽

佐保姫の すゝ
ちんなや 山うゝ　富石

古ぶるを
移る春の 雁の帰　花口

鶏旦

門出や四海と
君の澤潮

韓風

元日や

士農
工商 祈る

金雀

改旦

墨をすれば我日の
ちから天下一

秋馬

神宮や
家々やく
ちらす魚

蘭風

改年　芦雪

かけ硯ハ
淮東潟の
卵使

年内立春　雪爽

こしの内年
来るわすれぬ
雪水

三始　伊水

たのしの春
いく夕べ
一夜鴻

雪巣

春の年の
夫婦や
大宵結

仝

鶏明

年起て胡母ふかの恵方ぶ　梦山

聚蚊

明るかの追くるもむ初烏　一友

古歳

遣ふる業も一夜かりしかな　仝

初鶏

世ふ咲くやも古今ぬ常床三の胡　柳糸

年尾

年の川麦かるるの海も　仝

初夢

碧くめとりつ二上りも物ふ象　盲人　芦石

改年

吹出る

雲の

高

青

や

古方

船

除夜

年治を

待り明る

屋の鶏いや　燕石

元日

おのを開く朝やそろ笑　其風

流年

糸柳年を[illegible]やの佛桜川　仝

歳首

元日や浜辺も伊勢と人の花　雲橋

不変経つ賀詞連

一ト年の袋のロやゆり鳥　至仙

不変経つ賀詞連

一ト年の袋メるやタ鳥　仝

竹田連中

清羅雪

正朝

[illegible]月[illegible]の姿　梅舟

小[illegible]山もつゝく　梅枝

小[illegible]ん[illegible]ぬらせて　泰州

七草

初月[illegible]の梅やすゝ[illegible]風呂　清羅雪

人日　花本泉

七らゝや切の糸も連抱子　東里

改年　秋之皷

初夢や西行のけゝ山もと　綿字

起きて今朝若菜や初日山　春弧

除歌

新年の春かすみや八角川　東里

年相

一つゝの春紙やゝ長　徐字

芳野　大年炎戸伊の花屋敷　春州

興

吉昌梅女

花の

妹背

ちるふ

初音

う邪

新春

かさりうり眼と
こゝろの若さをも

清山園　梅枝

年晩

うり借し年の
雑炊や伊勢日記

仝

三始

初春の
梢又
惠ム

初　同
うの日

磬　赤

年の尾や折ゆの煙も拳酒メ

尾形氏　秋磨

年尾

[illegible]の[illegible]書　梅舟

追加

[illegible]後の器見る　風狀

歲旦

筑後久留米
矮野店　柿園

ひとり昭憐花君ハ古郷月

古巢

年清ムやゝ弓ハ紫ふいさ[illegible]様　仝

但馬七味連中

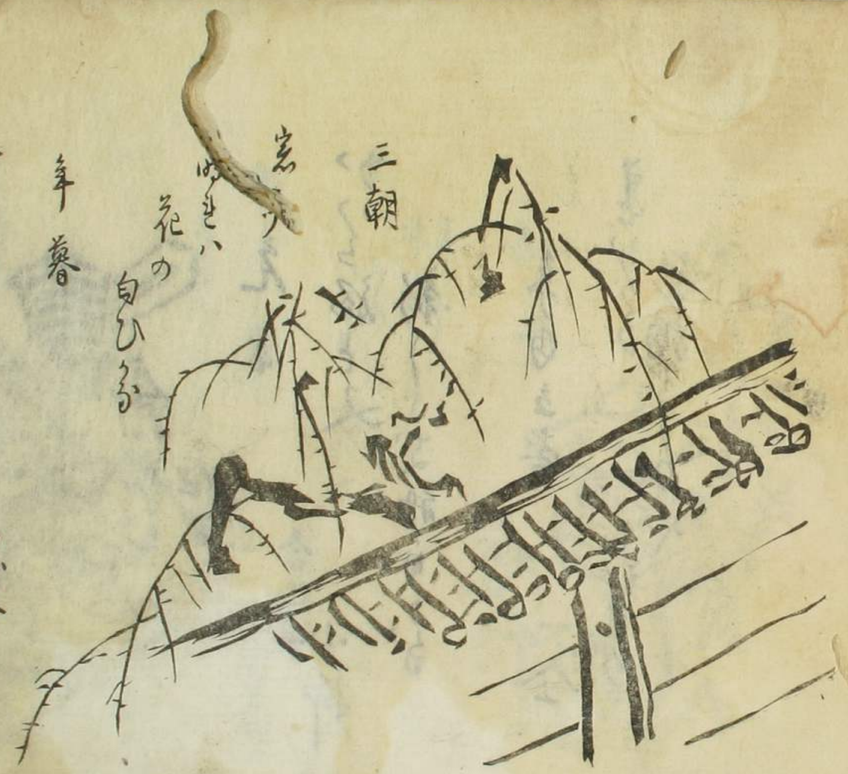
歲旦

三射園　葛江

年事富んで[illegible]三つの礼黄[illegible]

巢芳　仝

年用の外[illegible]　年さらし



三朝

岩ツ

咲き八

花の

白ひる

年暮

金の塵

ふるとゝゝ

師走の節

如桂全

路習

羊兎図

七十五

雪

節

白雲全

岩水よ

味ひ有や

菊市子

梅山

寒

寒しの旨酒を義の仮寝

仝

元日

かりそめとて又
新しき神日ゑ
香象歌 小柳

年内立春
甚句
結納ちらりや
しなめ
仝

新年

あらたまの
神殿とつらつら
ちらりくく年の
くくて
孟勇彩
雪布

あらたまの
ちらんちらんと
神の春

層軸

ちらりの紀
切和ちゃや
芳月楊
仝

改　旦

雲間金　乃子

大黒の
なけ入初や　福寿草

辛未　春

辛未携て　春の梅　仝

辛酉

春梅や白しいやまの神の春　梅山

春の月ホトヽ沒りて夕霧　芦江

歳旦

弟恩代の恵みまさるく世よ
先祖ホトヽまさる草四朔の
巳ハ子ウ生と辛多を祝して　冊後川口大川

春ハ
かつら
筋
ゆ
ゆ
初巳の賀　乗風

氏の恵みも伝まる辛徳　仝

花の咲く　同国右京
山ハこゝろ　戸を閉ケて　如猿

辛　春

うら白を竹ら今日をそなるし　乗風

歳旦　　冊後油屋

梅ゝ[illegible]や帰ゝる福寿草　連吉

年尾

餅つくや放ひ初る杵の音　仝

同所　　荻牙堂

子金ゆ[illegible]旦結ぶ[illegible]め　注車

ち歳

流れて川ハ師走の深ゝ郷　仝

岩分

嘘の川ゝを漕ぐし寶船　松斧堂　如猿

年内立春　冊後川口志寿　松斧園

年の内ゝ福徳仏ゝ御愛ゝ[illegible]　如猿

春　奥

宮のゝ[illegible]をゝ[illegible]て出る蘭ゝ　仝

歳旦　冊後田邑

七夕のゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ　奇磨

年　楊

[illegible]

非時さへ年ゝ[illegible]室の内　仝

雜明

冊後久矣

初さくや竟ぶ（ぶ）ぶ（ぶ）山うつり　雲谷　松居

うつりと頻紅一滴の屠蘇　風狀

雪　宗

流るゝ年や爰路の通り鶴　雲居

年内立春

春る年や主の屋く梅の花　仝

歳旦

冊後食谷　道遥歌

久しさ後の人に世に日出る初　青丘

居蘇句て聖踏まも笑ふ張　釜皇亭　琴之

年尾

何と行年流尾と雲の路　青丘

うゝのなり（ぎゝ）多の波　琴之　但馬城侍

元日

初空や百歳の百福　亟敷　呉津

若ゝ代や七福祈も明の春　丑蘭

宗芳

掃や老男の森の鶯　呉神

行年のうゝ姿や梅の花　天葉

但馬出石連中

歳旦　湖似

あつと咲く初日の景や恵牡丹

蓮華の海玄も腸のそ初日　宗平

元朝やこの日八同一世界浮　艾虎

白の青小雪海も初日　輝隅

年尾

白月ありて　湖似

琴の糸玄中ゆそ與年を響　宗平

探かゝ玄るくの底ちしるの糸　艾虎

くら足そりゝ巡ジ年の虎　輝隅

天地のあめくりる寶ゝり

歳旦

人ちも先小四ゝり年男　叫丸

歳旦　彩雲之賀

あゝ玉八新しゝ春のうゝ　琴松

年暮

眠るゝ山京冬の付や年の暮　叫丸

浪風もゆゝる小誠や寶船　琴松

歳旦

日方命日八月の浪命ゝ　山月堂　遊人

春ゝ力を添る初賣　文蛍

四ゝ春小花月の先を船を出て　杜人

二

春風ゝ出ゝ初夢小　和輪亭　文蛍

風を笑ゝ新小ゝ乱拍　遊人

八重ゝ重幕を霧ゝ包ませて　文蛍

年暮　未

十三の時仕舞や大三十日　文蛍

年暮

居ながらの漕出す船や年の瀬　遊人

歳旦

芳風觀

[illegible]の年玉や紙の顔　尺糸

かすみの鶴根の浦のかちの栗　風狀

雪

年の尾やもるさかさぐく白氣　尺糸

歳序

清風館

[illegible]の神日の出　華笠

年八中央屠蘇の酌人　風狀

除夕

[illegible]の日の[illegible]の[illegible]　華笠

伊豫西條連中

雜旦

風俗二葉の子神明の春　牧雨

又宝永版

[illegible]若し遠海の[illegible]尉　蓬州

二云童

[illegible]の波も[illegible]の春　湖梅

四[illegible]や松と[illegible]門の春　一[illegible]

松井や新[illegible]の花月　西湖

衆芳

南之茶湯の繁なるに八年の梅　西梁
風流人の移り年の車坂　一点
破麻呂と勝る夏の渓清流　湖梅
松の傷没も逢後の苔の川　壷弱
鶯出け山言葉の林年暮る　牧夏

年内立春

蕗の薹ほのぼの春風吹きそめ　壷州

函朝

伊豫多地

余の鳥の海に用ひなし　加鳥　假粗
竹ゆえ二度の夜拙や花の春　糸口

年挙

行年の裾をまくるあやまりこそ　糸口
梅や世の寒さも針の伊達　仮粗

伊豫川之江連中

歳旦

去年の病悩に茶湯を絶
月出度新年と思て祝ふの

あらたまの　子とある
烏帽子　梅ての卿　巳冷

辛酉立春

春院よりの尾筋や武蔵場　思冷

除夕

角大師今宵鰯の加勢うら　仝

歳旦

春の初めや雲の不老門　恵人

咲やはつ出うらから花の春　天露

巣尾

行年の歩みや風雪凧　恵人

餅つきやゆ　上下切き合　[illegible]

歳旦

年を抱く
ちや

門雲の
二柏

辛酉
立春
者の
春や

青形
山風
うら
龍

巣尾
行年を
顧よ師走の邪

右三章　烏笑

芋魁画

歳旦

靜花ハ動くふ　福寿草　鎮柳
あるさなし

雪歳

餅搗や淋ハ寸と淀る年の浪　仝

雪前　泉茅岩和留　寶茅鈴
鬼神も感せしむる明の星　芳風

年尾

入あの金ち春をしむつ花　仝

歳旦　同所

玉ゆらゝて七福遊葉さゝし石　風月亭　京愛

せいらい
いと紀く春を濃やゝ弘雀尾　仝

播磨佐保社連中　東月亭

歳旦

令淡ふゝさゝ茅花の初日影　梁竹　外珉堂

年よつる年よ一般ちゝ思ふ　簡風　竹風軒

君と民万茅楽や三の湖　民平　境中亭

ちんゝ年富拗て弟る朝ふ　竹晴

年猶

鶴の小かゝ千ん乙丁ゝ年の朝　梁仲

今日て年ゝのゝと学ん大三十日　簡風

有ゝゝ聖日のゝ聖日や大三十日　民平

夏碟世男ふ鬼のあゝ後ふ　竹晴

西翔

其時を今も祈や初日出　五百丸

元旦の日も言伝や年不変　仝

歳旦　播磨東古隈邑

柏堂の青ふるくや福寿草　吟月

歳旦　播磨住保社

住保姫ハ　花の裏　稲青

不老の名し

年尾

書初や多年の文ちらしの蘭　仝

歳旦　合時を祝ぐ

元日や　酒心　弗平

足ゑるる

晩年　昭竹李　仝

年をおさめくる

仝

年

歳旦

天地の富すゑ伸て
垂をまつ　但馬生野

徳為の芳菜と夜も既笑ひ　其角

歳暮

ゆくもやゝ暮て行年の波枕　仝

三朝

いく春の二人をお船うち門松　日向清武

春興

白妙の戻り小橋の油　仝

播州姫路連中

歳旦

去年元朔辛日小
あらしの事を
祝ひて
先祝ひ色よ　年の朔
あけ初る
新の玉箒
酬りひくあり
霞山ひと空も
雪ゝ　ゆんて四人
長延堂
一〇

歳旦

世とともに
開く寶や福寿艸

流々軒
信甫

歳旦

初室の　澤水舎
合せ清き　海鄙　苦鶴

歳旦　八布布氏

初鶯や　実九重の　剣を切　橋風

三朝　本蓑氏

霞、衣、山、着（キソ）　始（ハジメ）　芳文

雪節　永壁氏

節ごとに　ふじの初日　林月

歳旦　不洋居

日八雲ホ　自ふて　三つの剣　船移

年尾

よ〻の藤　ゑや　師匠の　記　今立

歳旦　芳蟹舎

初雪や　二月陽の　郭公　梅流

年尾

一夜越して　梅も　蕋　月　播生秋

山月を　沼を　知り　水かゝみ　一石

四月腊而連中

歳旦

題梅　野雀軒里山

梅一千の
敷も延る三岳朝

年尾　仝

磯濤
世語岌　年波

歳旦

年の始とする事紀
年條小句しを合む初日小　如流　順之

元朝や日小句しを彩の枝　百川

むめ咲あくるを衣の事始　芥舟

法と日の中小春て有初の紅　梅風

氣盛と元咲出を御髪の形　梅函

歳尾

小盃を春を迎る柳哉　如流

老あるも波りの年の川　昨之

影寒や菊を垂と雪小梅　百川

春も終に実ぬを年立を　芥舟

年見小濁りて有る年の川　梅風

春と謂ふ[illegible]三十日夢の夜　橘亟

歳旦　口羽大海連中

蓬莱や廣い世界へ明の春　万乗　橘居

歳

掃や大黒柱と一裏目　仝

歳節

[illegible]盤と八代雲の枝や初日空　紀伊居　久浦

初朝日[illegible]八雲の鏡山　胡雙

歳暮

[illegible]農、蓬莱より衣や春がすり　久浦

[illegible]春のまつる花けや梅の花　胡雙

歳旦

月花の幕引明て初日哉　鈍叟軒　糸之

あるまの枝へ彩付く鶯の初　近関舎

南枝まつ冨く笑ふや初日新　月雪堂　四鶴

天のたの[illegible]も影そ[illegible]　無々居　羽旋

歳暮

万石ハ方石かとの門たて　糸之

[illegible]の春とまつる栗[illegible]

年の内ハ春の春や通ひ付　四鶴

[illegible]の閑と[illegible]や一[illegible]　羽旋

江戸墨田連中

歳旦

捨て滅び巌はありや御代の春　今岑

雪を人故捨て枝なし　初言葉　耳子

初春や雅人の拾ひ集言葉　丁庸

山ちの稚彩しく〜と朝寒春　羊波

元日や暮屋ものハ皆殺　裸程

人ハふ幼家ハ晴〜、花の春　素吟

人ハ少く初日と登る東山　娘子

ぬけ〜蓋も芽ぶ揺ぶ初うぐひす　狐尾

牛尾

年の数ふるや高野の矯摂ひ　狐尾

弾にうゝ故ゞ廊の年高し　娘子

月花つる化さ仏を年年や　素吟

面白や波清めけ〜の水　裸程

月雪を誘て花ん年の坂　羊波

南指す枝や春待つ年花　丁庸

鬼ハ又ゆめ赤人金鬼とん　耳子

月雪や心の燈ち一筆　と岑

新巢

大森より中山ふ
とりはてめつらしき
巣をこしらへふく　江戸中山　玄々亭

植置て　花まつ年の　芽ぐみ哉　雪石

勝景

花信の矢橋人
漕ふ帆先の船　仝

丁丑
歳旦

勢州伊部
省傳舟
可人

はつとしさま
神立
恵あ書

保和

持春年年多笑ふ中
春一枝出家船

歳旦

同連中

[illegible]代福寿竹色や神の影　経峯　蘆舟

八[illegible]より梅や神の上色　九江亭　巴喬

影陸[illegible]小神の奏者役　仲随舎　子風

[illegible]知やかな梅き[illegible]　皆春堂　専是

神風やいく[illegible]代を[illegible]七五三　竹里館　可久

子[illegible]の[illegible]来り神の影　宇仙居　和水

[illegible]国の[illegible]を[illegible]神の[illegible]　雪封楼　花交

[illegible]の[illegible]梅乃[illegible]　竹香亭　文人

猿屋

天[illegible]　福ハ内　可久

いく[illegible]鬼も

庶の[illegible]　[illegible]の梅　花交

[illegible]　[illegible]の[illegible]　文人

傾城もかなしむや　手枕の小袖　和水

家忘れあるまじ　一年の暮　雪見

雪の朝　化粧部屋　子屋

お物の

けしの実　世を清ら　巴蕉

酉の刻　紙屋　蓮舟

紙屋

弱蕨の飛び付馬の子　凡雲舞　風狀

目録大鴻

歳暮賀連中

歳旦

花の春の　鶴の歩みの　卯年の春　来年　東花

巻頭

巻末

目うつり　年波寄る　仝

玉真

小雀なる　宗匠や花の　仝

雪の朝　仝

歳旦

[illegible]

[illegible]

定友改

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十廿軒

歌まくら　一力

年賀

[illegible]　師光山　其友

元旦

[illegible]

周防久賀

[illegible]　初日小　後素

[illegible]

[illegible]　已ハ仕舞の　仝

初例三室

竹樹鉢

[illegible]　[illegible]丸

[illegible]

[illegible]

[illegible]　仝

勢州上野

歳旦

[illegible]　已の春　冠之

年暮

[illegible]世を見[illegible]ふる　冠之

改旦　勝別当子　一圃居

[illegible]ハ[illegible]を[illegible]ひなん　初日[illegible]出　廻髭

魯柚

山月を磨出[illegible]ふり　爆竹　仝

春無

[illegible]の多さハ少[illegible]　仝

駄馬　[illegible]

[illegible]　福百足　妙龍

歳尾

爆竹[illegible]　仝

[illegible]

義弘　[illegible]　近中

歳旦　松甲斎

心境の墨りを[illegible]　初日新　初倪

元旦　望月卯

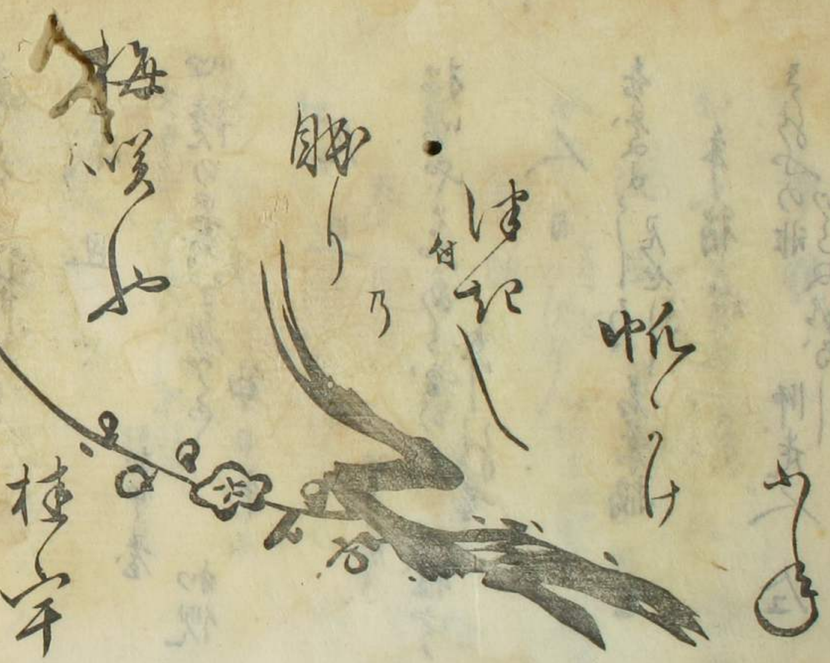
松嶋や[illegible]の年[illegible]音　樵宇

人日

[illegible]　若菜摘　仝

年楮

[illegible]の非　師走人　仝



勢州洞津連中

梧井鈴

松竹の幻白影や明君春　以敬

竹堂秋

寶月や乙女もうれし　編寿苗　杜若

梶樹林

万葉の庭無もふ代の春ふ　砂江

月秋春

若ふ代や弓ふ袋ふ弓ふ　千写

春嵐ふ影り

春の雪とん毛ふる梅の蕾ふ　多写

ふ金の價値内や年の梅　砂江

巣蕃

年ふ過ぎかけても年ふ寄ふ　杜天

寶船岳ふ弓ふ年の碇ふ　以敬

元旦

世の時てんハ九一和ぶり　秀素亭　栢史

君の代や初日の延る海もなし　聖と余堂　彫秋

歳尾

年やゆく星を蒲の形書　彫秋

日もうわの年の織目弾る　栢史

鶏旦

初日代歩ゆ紀年法　南星　治右亭

戸明雲と作る師走小　蘭く堂　蓼牙

元旦より永の一字を筆はじめ　巴凌　耕雲舎

雑曙やんの約束を所　砂漠秋　百之

東西や年始参り車歩戸　不及秋　端水

年暮

暁ゆて梅も咲ぬや年の暮　塩乃

年年も同じ法鈴ふ年の坂　百之

冬枯中を賞ふ室の梅　巴凌

愛敬の坊ス梅の鳥や年の暮　蓼牙

子情むや春ちうり初る蒲鉾　南星

元旦

ふるとし男をゆうり　三笑堂

我が代の花の厨や初日の出　一九

年尾

ふ惑の年も暮くれ

嘘うそぬ工夫初や四十暮　仝

三朝　伊勢津清の　泥水居

代々白い花の咲島やもりこと　辭　不流

巢芳

あれ齢の淵へそ若〳〵年法師　仝

歳旦　伊勢雲坂

明て今朝咲く支〳〵りり　笑山

年楫

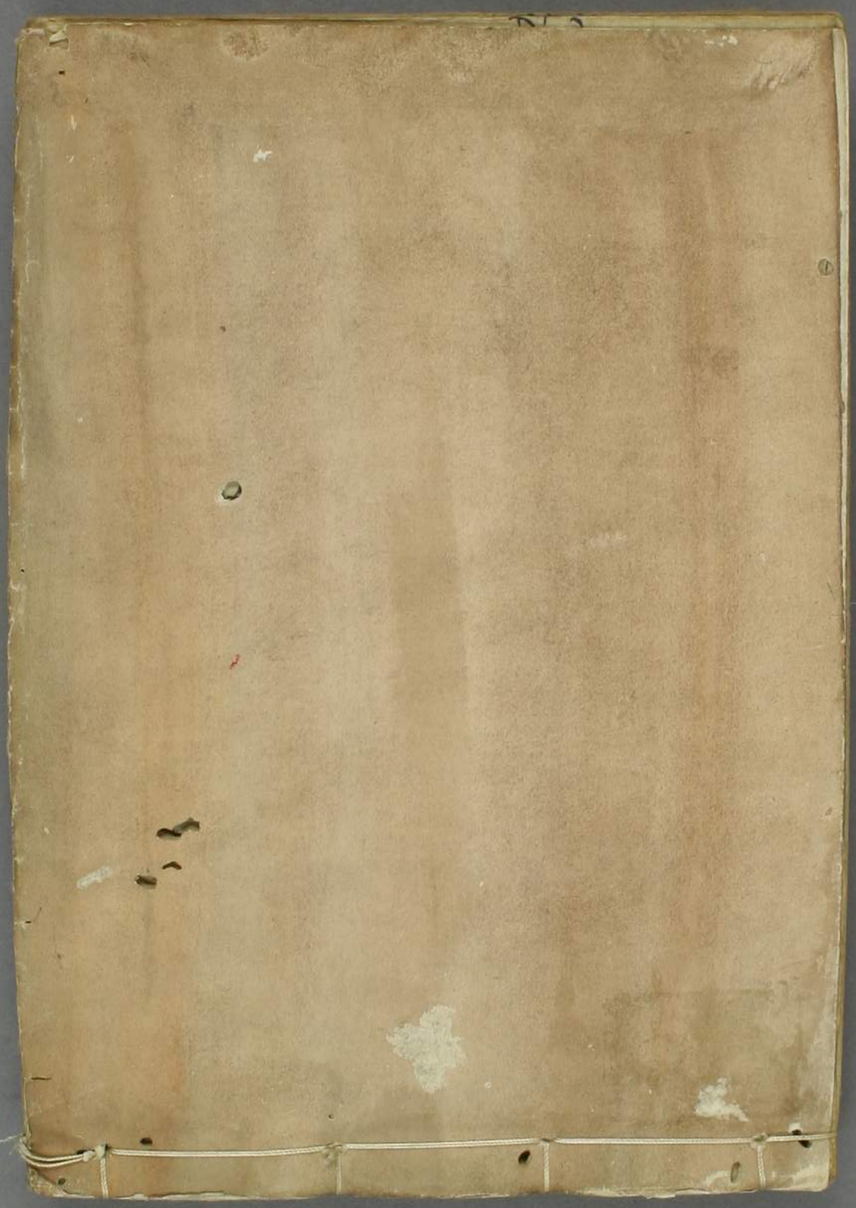
面白し餅の田舟の月の顔　仝

年序　伊勢稻田川　行江改

日の春のゆるとゆるさ春の水　穀山

年尾

人〳〵いさこ師乞し向〳〵玄賀の松　仝

雛名を改し時

手〳〵しゝ変る名武　仝